

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

○令和6年度 第2回「健笑庵いくま」運営推進会議

対象事業者名：(有)ケアサポートことぶき「健笑庵いくま」

サービス種類：地域密着型通所介護事業所

開催日時：令和6年11月26日(火)午後2時30分

開催場所：健笑庵いくま

出席者：9名 《内訳》

事業所(担当者)	3名	利用者	1名
利用者家族	1名	地域代表者	2名
包括支援センター	1名	知見を有する者	1名

【議事・議題】

1. 活動状況

1) 利用状況(令和6月10月現在)【訂正済】

登録者数 (設置基準別) 14名	総合事業通所サービスA(緩和型)	4名(男性:0名、女性:4名)			
	総合事業通所サービス(従前型)	2名(男性:0名、女性:2名)			
	地域密着型通所介護	8名(男性:1名、女性:7名)			
介護度別 利用者数	事業該当:1名	要支援1:1名(内、緩和型1名)		要支援2:4名(内、緩和型2名)	
	要介護1:4名	要介護2:1名	要介護3:3名	要介護4:0名	要介護5:0名
利用回数状況	週1回:5名	週2回:6名	週3回:2名	週4回:1名	週5回:0名
各月総利用数 (R6.5~10)	5月:108名	6月:94名	7月:107名		
	8月:105名	9月:94名	10月:109名		

2) 活動報告

①誕生会(誕生日の一番近いご利用日に実施)

②レクリエーション(季節行事に合わせたものや要望に応えたもの)

- ・壁画作り・鯉のぼり見学・芝桜見学・ビンゴ大会・紫陽花見学・七夕飾り作成・七夕会・かき氷作り・ボーリング大会・蓮の花見学・敬老会・調理活動・コスモス見学・ハロウィン飾り作り

3) 日曜デイサービス(月1回、日曜日開催)

開催月	活動内容	参加者数
5月	一畑薬師へ外出	6名
6月	松江歴史館へ外出	6名
7月	島根ワイナリーへ外出、外食	7名
8月	納涼会【かき氷作りなど】	7名
9月	創作活動、外食	7名
10月	一畑薬師へ外出、外食	6名

4) 防災訓練及び活動

実施日	訓練及び活動の内容	参加者数(内職員)
5月	火災について	4(3)
6月	地震について	4(2)
7月	火災について	3(3)
8月	地震について	6(2)
9月	地震について	3(3)
10月	火災について	6(3)

5) その他の活動

- ・洗濯物たたみ、歌唱活動、脳トレドリル、塗り絵:(毎日)

2. 相談および苦情受付状況・事故報告（令和6年5月～10月）

- 1) 相談苦情事例 *この期間での発生、受付はありません。
- 2) 事事故事例 *この期間での発生はありません。
- 3) ヒヤリハット対象事例 *この期間での発生はありません。

3. 研修会および勉強会等

【外部研修】

*この期間での実施はありません。

【内部研修】

実施日	研修会・勉強会内容	参加者
5/19	ケース検討会（デイ会議）	3名
5/24	BCP研修	7名
6/9	ケース検討会（デイ会議）	3名
7/17	ケース検討会（デイ会議）	3名
8/18	ケース検討会（デイ会議）	3名
9/8	ケース検討会（デイ会議）	3名
10/20	ケース検討会（デイ会議）	3名

【集団指導】

- ・8/23：令和6年度第1回松江市介護保険事業者集団指導 [オンライン参加]

【運営指導】

- ・10/8：『健笑庵いくま』地域密着型通所介護事業所運営指導

・主な改善指摘事項

- ①年間の研修計画を明文化すること
- ②運営規程において、虐待の防止に係る項目を追加すること
- ③重要事項説明書において、その他の費用について明記すること

【その他、職員の資質向上に向けた取り組みの状況】

- ①情報共有の機会の確保：日3回（朝・昼・夕）のミーティングを基本とする。
- ②ケース検討会及び勉強会をも兼ねた事業所研修会の開催：月1回
*入浴に係る研修会（年1回）も兼ねる
- ③全社内部研修会：月1回
- ④その他：虐待防止に係る研修会（年1回）
業務継続計画に関わる研修及び訓練（年1回）
感染症対策に係る研修会及び訓練（年1回）

4. ボランティア、福祉体験等受け入れ状況

*この期間での受け入れはありません。

5. 業務継続計画（BCP）の策定に関わって

地域密着型通所介護を含めた介護サービスは要介護者や要支援者、そしてその家族の生活を支えるうえで欠かせないものです。そのため、感染症や非常災害の発生時において、可能な限り継続的なサービス提供及び非常災害時の体制で早期の業務再開を図ることが社会的に求められています。このことから「業務継続計画」を策定し、それに従い、必要な措置を講じています。

1) 担当者の配置

- ①専門委員会の設置：事業所担当：岩成聡（管理者）
- ②計画内容の点検、確認及び更新
- ③従業者への周知のための研修会及び訓練の実施

2) 委員会及び研修、訓練の機会

- ①委員会：年2回（おおむね6月に1回）

②従業員研修及び訓練（シミュレーション）：年 1 回

3) 今年度取り組みの状況（計画も含む）

①第 1 回委員会：5 月 24 日

（内容）1.委員の選出と役割分担

2.研修及び訓練について

②研修（感染症対策、災害対策共通）：5 月 24 日実施

③訓練（感染症対策、災害対策共通）：12 月開催予定

*感染症対策に係る訓練については感染症の予防及びまん延防止のための訓練と兼ねて実施。

4) 計画内容の課題及び問題点

①従業員数、事業所規模、「通所介護事業」に応じた計画の策定とする。

②他事業所及び関係機関との連携が必須である。

6. 虐待の防止に係る取り組みについて

当事業所ではこの度の介護保険の改定を受け、ご利用者への虐待の発生またはその再発を防止するために一定の基準を明確にするとともに必要な措置を講じています。

1) 運営法人内に専門委員会を設置し、事業所ごとに担当者を配置します。

①虐待の防止のための指針を整備する。

②従業員へ周知を図るための研修の機会を定期的実施します。（4 月 26 日：内部研修会開催済）

③虐待等の発生した場合、関係機関への報告と再発防止のための対策を講じます。

2) 虐待の防止のための対策を検討する委員会を定期的（年 1 回以上）に開催します。

7. 地域密着型通所介護事業所『健笑庵』の積極的なご利用について

通所介護事業所『健笑庵』は 2001 年の開設（*『健笑庵いくま』は 2003 年 8 月の開設です）以来、「個別」を意識した、少人数制での通所介護を軸に高齢者の皆様が可能な限り住み慣れた地域で、何よりもご自宅で暮らしていくことは当たり前のこととし、「在宅支援」に拘った活動に取り組んでまいりました。ところが、2020 年の新型コロナウイルス感染症の発生以降、介護の基本である、対面での直接的関わり方等についても制限が生じ、コミュニケーションの概念が一変いたしました。通所事業に至っては、感染対策として事業の自粛や一時休業などもあり、利用者の皆様と想像したような係りができない状況にもありました。その後も利用者の減少が顕著で、弊社、『健笑庵いくま』では、未だにコロナ以前のような利用者数には戻っていないのが現状です。しかしながら、最近になって少しずつですがお問い合わせやご相談を頂けるようになってきました。その中で実感することとして、高齢者の皆様の日常において、直接的な対面でのコミュニケーションは不可欠であることです。そのことから通所介護の必要性について再認識し、改めて、弊社『健笑庵』の「在宅支援」の積極的な取り組みをアピールしたいと考えています。

1) 通所介護の役割と可能性

通所介護では、週内の一定のリズムで関わりが可能になることから、高齢者の日常生活で損ないやすい、暮らしのリズムに対してもアプローチが容易なサービスです。このことから介護ニーズの初期の段階においても有効で導入しやすいサービスと思われます。また、送迎という特性を生かし、ご家族様との連携や必要に応じてご自宅のある地域の皆様との連携も可能な機会と考えています。

2) 通所介護の利用のタイミング

『健笑庵』では通所介護サービスの利用を検討するタイミングは次のように考えています。

①他者と交流したい。（近しい友人との離別）

②配偶者死亡等による、世帯構成の変化

③同居家族の介護負担の軽減策として

④体調の変化によるタイミング

8. 報告に対する意見及び要望・質問

<意見、要望>

○利用状況及び活動内容等に関わって

・週 2 回利用しています。家で一人暮らしなので、デイに来ると色々な方とお話できるので、さみしさを忘れ

ます。昼食が美味しく毎度楽しみにしています。レクリエーションや歌唱や脳トレなど皆さんと賑やかに過ごしています。季節行事や色々な場所に外出できることもあり楽しいです。[利用者]

- 母親が利用しています。同居の家族は皆勤めがあり、日中ひとりになります。デイに行ってくれる日は安心していています。いつも職員の方が寄り添って対応してくれているのでありがたく思っています。また今回、初めて運営推進会議に参加しましたが、介護保険の制度やデイサービスの事業内容等の話も聞いて良かったと思います。 [利用者家族]
- 相談・苦情の受付、そしてヒヤリハットの事例の該当がなしと言う事はよいことと思います。今後も職員間の連携や利用者及び家族との関わりやコミュニケーションを密にして取り組んで欲しいと思います。また、虐待に関しては、当包括支援センターも相談窓口になっており、実際に通報ケースもあります。この場合には、関係各所に確認する事があり、実際に日頃関わりがあるデイ事業所等にも色々と利用者や家族の関係性や隣人や交流がある関係者等の情報を確認する事があります。その際には協力いただけますようお願い致します。また、日々の利用者さんとの関わりの中で何かお気づきの点あれば聞かせてください。[包括支援センター]
- ボランティア団体について、生馬公民館でサークル活動している団体があるので公民館に問い合わせしてみたいかでしょうか。 [地域代表]
- 「日曜デイサービス」については外出等の企画をする特別活動として話を聞いていました。今後も相談等のタイミングで紹介したいと思います。また、地域の限られた社会資源のひとつとして、事業所を守っていかねばならない立場にあると認識しています。[包括支援センター]
- 先日の日曜デイにも参加しました。最初、「そば打ち体験とか出来るのだろうか」と思っていたのですが、全行程の作業ができて楽しかったようです。[利用者家族]
- 四季の行事を取り入れ色々と工夫されて活動されていると感じます。外出行事等、限られた職員で対応されているので大変だと思いました。[地域代表]
- 当方の事業所でも運営推進会議を貴重な地域住民との交流の機会として取り組んでいます。近隣の宅地開発に伴い、周辺の道路事情などの問題についても共通な認識を持って協調して対応できるように取り組んでいます。[知見有識者]
- 業務継続計画の策定に関わり、災害時の利用者及び家族との連絡体制の一つに「伝言ダイヤル 171」の活用を検討してみてはどうでしょうか。[地域代表]

〈質問〉

- Q：デイ利用時に食事はどんな風に提供されているのか。

また、利用時に全利用者が入浴されているのか。[地域代表]

A：昼食の副食に関しては外注にて対応しています。ご飯とみそ汁については当事業所で対応しています。

また、入浴については、利用者全員ではなく、ご自宅での入浴が困難な方(環境や心身の状況によって)を対象に事前の計画に基づき入浴支援を行っています。

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○